

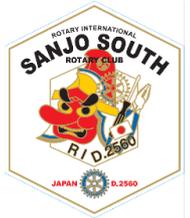


三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2025-2026
クラブテーマ

友に学び、ともに歩み、共に成長



2026. 3. 2

第一例会

No.2552 No. 24



会長挨拶
三条南ロータリークラブ
会長
木村 謙

前回の新年会では、懇親の場であるにもかかわらず、会則に関するご意見を多く聞かせていただきありがとうございました。お酒を呑みながらざっくばらんに意見を伺うことで、皆様のいろいろなお考えをお聞き出来て、非常によかったと感じております。

今回、細則を変更するにあたり、クラブの定款、細則、そして「ロータリー章典」を再確認いたしました。まずクラブの「定款」ですが、皆さんも実は毎年目にされていると思います。毎年提出する現況報告書の最後の方に添付されております。改めて見直しましたが、やはり「例会およびオンラインの例会に60%以上参加していることで、出席として認められる」という規定になっています。

また「細則」の方については細かい部分になりますが、前回ご説明したような内容が記載されております。

そして「ロータリー章典」ですが、私がこの存在を初めて深く知ったのは、2年ほど前の財団委員会に参加した際に財団副委員長からお聞きした時でした。

ロータリー章典は3年に1回大きく変更されていると聞いていましたが、今回改めて見てみると、英語版・日本語版ともに細かくアップデートがありました。ちなみに2560地区からは、パストガバナーの高尾さんが規定委員として参加されています。昨年の秋ごろにも協議に参加されていたかと思えます。

このロータリー章典、全部でなんと775ページにも及びます。さらに、直近の2025年10月に改正された部分だけでも84ページ分もありました。

今回、私も会員に関するところを中心に読んでみましたが、例えば35歳以下の若手会員に対して、次のような記載がありました。

「クラブは、年齢35歳未満の会員の会費と入会金を免除することができる。さらに、クラブはこの年齢層の新会員のために地区会費を負担することができ、また地区は、地区協議会あるいは地区大会での決定により、この年齢層の新会員の地区人頭賦課金を減額することができる(2019年10月理事会会合、決定29号)。

そして、2025年10月に新たに追加された内容で、クラブに大きく関係する重要な変更は主に以下の2点でした。

・「正当な理由による会員終結」規定の新設(重要)
クラブの秩序や最善の利益を守るため、もし不正行為等が立証された場合などに、理事会の判断で会員の資格を終結させることができる(辞めていただくことができる)という規定が明確化されました。

・ハラスメント教育の義務化
すべての人にとって安全で快適な環境を作るため、会長をはじめとした役員層へのハラスメントに関する教育が義務付けられました。これに伴い、全会員に対しても行動規範の遵守と、ハラスメントのない環境づくりへの協力がこれまで以上に強く求められるようになっていきます。

最後に一つご報告ですが、先日、三条市内の4クラブの会長・幹事の集まりがありました。そこで、各クラブにある「情報委員会」を、「ラーニング委員会」に名称統一してはどうかという意見が出されたので、当クラブもそちらに合わせて名称変更を行っていきたいと考えております。よろしくお願いたします。

- ◆本日の出席：39名中28名
- ◆先週までの通算出席率：89.76%
- ◆先週までのメイクアップ：2/12 市内8クラブ有志ゴルフ大会打合せ会(三条ロイヤルホテル) 永桶俊一さん、木村謙さん、吉沢栄一さん、中村靖さん、藤田寛嗣さん、峰嶋由紀子さん▷2/14 第2回米山委員長セミナー(柳井オク彦所長 坪井康紀さん、木村謙さん▷2/16 創立60周年記念事業準備委員会(D+5) 野崎正明さん、船久保孝志さん、荒澤威彦さん、長谷川直哉さん、木村謙さん、吉沢栄一さん▷2/16 三条南RC(夜例会欠席者記帳) 榎本剛彦さん、太田義人さん、永井篤利さん▷2/17 三条北RCへ 佐々木常行さん、星野健司さん、長谷川直哉さん、永井篤利さん、平松修之さん、峰嶋由紀子さん▷2/19 三条東RCへ 平松修之さん、峰嶋由紀子さん、佐々木常行さん、星野健司さん、松崎孝史さん▷2/20 市内4RC 会長幹事会へ 加藤一芳さん▷2/26 三条市共同募金会運営委員会へ 田中康之さん▷2/27 市内4RC 会長幹事会へ 加藤一芳さん
- ◆幹事報告 加藤一芳幹事
- ▶「十日町RC創立70周年記念式典」日時：令和8年5月16日(土)▷会場：あてま高原リゾートベルナティオ 受付10:30~11:00/式典11:00~11:45/祝賀会12:10~14:00(木村会長、加藤幹事出席)
- ▶【3月のロータリーレート】1ドル=156円(前月比±ゼロ)

よいことの
ために
手を取りあおう

国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツツォ(イタリア)
第2560地区ガバナー 室賀 信宏(白根)
第4分区分ガバナー補佐 青柳 修次(燕)
会長 木村 謙
幹事 加藤 一芳
SAA 関 博市

事務局
〒955-8666 三条市町2-5-10
三条信用金庫本店内
TEL0256-35-3477
FAX0256-32-7095
E-mail info@sanjo-minami.jp
URL https://www.sanjo-minami.jp

ニコニコボックス

3/2 18,000円 今年度累計 428,000円

木村会長「ようやく春がきましたが世界は平和ではないようです。困ったものです」

加藤幹事「先日8年ぶりにスキーに行ってきましたがケガ無く帰ってこられました」

大溪さん 野崎さん 田代さん 荒澤さん 銅冶さん
松崎さん 熊倉さん 坪井さん 田村さん 藤田さん
榎本さん 中村さん 渡辺(俊)さん 太田さん 木村(雅)さん
「BOXに協力します」

坂井さん「BOXにご協力ありがとうございました」

「ロータリーの友」誌3月号より



クラブ会報副委員長
田村 隆雄 会員

ロータリーの友3月号から、3つの記事を紹介します。

3月号のテーマは「備える」です。

まず、最初は縦書きの冒頭の南海トラフ巨大地震を乗り越えるです。

地震学者の木村玲欧氏の講演記録で、防災の備えについて述べています。氏によれば「南海トラフ地震と首都直下地震、そして富士山噴火は必ず来るし、いつ来てもおかしくない。」と断言しています。

南海トラフ地震と同様な地震は直近では過去に1944年と1854年に記録されており、概ね100年程度で発生すると言われており、同様な周期で発生するとすれば2034年から2044年に発生する確率が高いこととなります。

原稿の中ほどには実際に地震が発生した場合の地震学者らの緊迫した生々しい現場の様子が記されています。

2年前の能登半島地震では発生直後、津波の到達速度と地震の規模から4桁の死者が出ることが予想されましたが、実際は津波が原因で亡くなられた方は数名にとどまりました。因みに2011年の東北大震災では、5桁、1万人を超える方がなくなっています。過去の大きな地震を経て、その備えが徹底していたことが多くの命を救ったと述べています。

南海トラフ地震では、6桁、29万8000人の死者が想定されているそうです。

最後に筆者は、大上段に構えず少しずつ備える、つまりXデーに備え防災用品を使う、試す、備蓄すること、これはサントリーが提唱した「ちょ備蓄(備えよう、ちょっとずつ)」という考え方だそうですが、それを実例を挙げて6ページで紹介しています。是非ご覧いただければと思います。

次は横書きの冒頭、フランチェスコ・アレッツォ会長の寄稿です。

ここではロータリーのパナマの水プロジェクトにおける関わり方と、その将来の備えについて記されています。

電気の供給がままならず、不衛生な川の水を利用し深刻な健康リスクにさらされている原住民に対し、清潔な水を太陽光発電による水処理システムを導入したプロジェクトですが、感心するのは3ページの左側の下から9行目に記載されている、「さらに、現地のリーダーがシステムの操作や維持管理の研修を受けることで、設置作業員が去った後も、安全な水が安定して供給される体制を整えました。」の箇所です。

自分の仕事を振り返ると、その時点の案件や単年度の目標や計画に対し、近視眼的・刹那的に取り組んでいて、長期的な視点で備える目を持ち合わせていない自分に気づかされます。自分の目標を達成するだけで満足せず、次の世代や後進のために最善手を見据えて行動することの大切さを学びました。

最後に、横書き12ページから始まる、国際ロータリー会長エレクトに就かれた、アラインカ・ハキーム・ババロラ氏のインタビュー記事を紹介します。彼はロータリーの次期会長という立場ですから、まさにロータリーという組織上、将来に対する備えという立場にあたる存在になり、これで紹介した3つの記事が「備え」というキーワードでつながります。

15ページ中断の見出しをご覧ください。「会員になることが、自分の人生にどれほど持続的な変化をもたらすのかを、人々に伝える必要があります」と彼は説き、自己の変化、ゲームチェンジを自らに、そして会員対しても求めています。

15ページの右列、最後から2行目には「恐れるべきは失敗ではなく、挑戦しないことです」と言っています。

かの、トーマス・エジソンの言った「私は失敗したことがない。ただ、1万通りのうまくいかない方法を見つけただけだ」にインスパイア、触発された発言だと感じました。

ロータリーの目的の第2では、「役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会とすることを奨励しています。

自分の仕事以外で社会に貢献できる場として、ロータリーにおいて与えられた課業について、今後も積極的に挑戦していこうと思いました。以上3点の記事を紹介させていただきました。



◆理事・役員会報告【3月定例理事・役員会】

日時：2026年3月2日(月)12:10より

会場：三条信用金庫3階ロビー

出席：16名中13名

議事1. クラブ細則の変更について【継続審議】

～次回以降に再度提案

会費の減額はクラブの運営に及ぼす影響が大きいこと、また公平性の観点からも問題が大きいため慎重に検討が必要

議事2. ロータリー情報委員会・ラーニング委員会の統合及び市内4RC合同ラーニング委員会立ち上げについて【承認】